

観光地経営戦略(アイディア)

2025年10月29日(水) 15:00-17:00
石垣市民会館中ホール

告知

宿泊税

税収の使途とガバナンスについて 観光地経営戦略(アイディア)会議

石垣市は、宿泊税の使途やガバナンスについて『(仮称)石垣市宿泊税の活用に係るマスタープラン』の策定に取り組む一環として、アイデア会議を開催します。

『第2次石垣市観光基本計画』が描く将来像「持続可能でより良い社会を求めて世界中の人々がつながるまち～石垣島の未来は地球の未来～」を達成するため、石垣島の観光の強みを磨き、課題を解消して観光の質と量を高め、観光の恩恵を理解できる戦略づくりについて、下記のとおりアイデア交換の機会にしたいと考えます。是非、ご参加ください。

記

主 催：石垣市 / 共 催：石垣市観光交流協会・八重山ビジネズビューロー

日 時：令和7年10月29日(水)

開場14時30分 開会15時～閉会17時頃

場 所：石垣市民会館 中ホール

主な対象：観光関連事業者(宿泊、体験、交通、サービス業、飲食、製造、一次産業等)・一般市民

参加方法：事前申し込みにご協力ください。 ▼申し込みはコチラ

※事前申し込みなくても可です。



<https://logoform.jp/f/AU21>

■ プログラム

1. アイデア提案(講演) 15時～

持続可能な観光、ブランディングの重要性、観光地経営、世界の先進的事例など、税の使い方に関するアイデアやヒントについて、ご意見をいただきます。

提言者：山田 雄一 氏(45分)
公益財団法人日本交通公社 理事・観光研究部長/石垣市観光審議会委員



タイトル「宿泊税が拓く石垣観光の未来～地域主体の観光地経営に向けて」

キーワード：沖縄の宿泊税の可能性、国内外の財源の活用事例、沖縄観光の強みと課題に
対する使途、ブランディング、中小企業支援、観光地経営とガバナンス

2. クロスセッション(会議) 16～17時

ご来場者・提言者、石垣市観光交流協会・八重山ビジネズビューロー、行政が一緒に会場全体で
宿泊税の活用施設、ガバナンス等に関するアイデア出しや意見交換を行うクロスセッション

参考：
宿泊税に関する公表資料



お問い合わせ先：
石垣市役所観光文化課 ☎0980-82-1535
Email: kanbou@city.ishigaki.okinawa.jp



観光地経営戦略(アイディア)会議 クロスセッション概要

ブランディング

産業支援

二次交通

文化育成・自然保全

受入環境整備

●星空観光の強化

- ・ 狙い: 宿泊への展開（滞在日数の延伸）による税収増
- ・ 2018 国内初「星空保護区」認定10周年の機会を活かしたプロモーション
- ・ 光害対策、空港等での訴求、星見スポットのモニュメント/導線整備

●八重山としてのブランディング:

- ・ 石垣の空港に降り立つ観光客の 4 割が竹富町の島々を訪問
- ・ 竹富・与那国との連携（県税の広域活用も視野）

●インタープリテーションの強化

- ・ 狙い: 双方向コミュニケーションを通じて、地元が見せたい価値と来訪者の期待を媒介
- ・ ローカルガイドの育成
- ・ ガイドコンテンツの強化

●閑散期の需要創出

- ・ 冬季の割引/ウエルカムアプリ
- ・ 冬季のスポーツ・合宿、音楽/アイドル等のイベント誘致（インフルエンサーの活用）

●地元企業の育成

- ・ 狙い: 地元発注の強化による島内企業の知財の蓄積/技術力の向上

●従事者の確保、育成

- ・ 従業員住宅の提供の制度
- ・ スキルアップの方策

●ユニバーサルツーリズム/接遇

- ・ 障がい者・高齢者対応の実地研修・接遇教育プログラム
- ・ 増加する相談への対応

観光地経営戦略(アイディア)会議 クロスセッション概要

ブランディング

産業支援

二次交通

文化育成・自然保全

受入環境整備

●空港－ホテルの専用バス

- ・ 狙い: 宿泊者が観光するための環境づくり、住民路線の逼迫緩和
- ・ 運転手の確保

●民俗芸能イベントの開催

- ・ 文化×閑散期: 12～1月に2週間程度、無料
- ・ 出演料支払いによる担い手育成と来訪動機化

●公共ビーチの維持管理支援

- ・ 市民無料開放に伴う維持費
(更衣室/ロッカー/シャワー) 負担の一部支援

●海難事故対策

- ・ 安全対策: 監視・誘導・多言語安全啓発、
ライフジャケットの提供
- ・ 人材の育成: 島の子供への教育
(安全な海の遊び方、身を守る方法)
- ・ パブリックビーチの開設期間見直し

●ゾーニング/景観形成

- ・ ブロック単位のデザイン会議の設立
- ・ 公共施設(学校、公民館等)によるリード

●防災・危機管理

- ・ 観光防災対策(多言語情報、アプリの再現性、備蓄、
スターリンク等の非常通信配備)

●ごみ処理対策

- ・ 狙い: ごみ処理場の逼迫(最終処分場の容量/焼却能力)の緩和
- ・ 事業者の分別強化支援(ゴミ分別に掛かる人件費補助等)
- ・ 来島者によるゴミ排出抑制

宿泊税の活用にあたって

▶宿泊客重視の資源配分

- 宿泊者が観光するための環境づくり
- クルーズ対応の見直し、2年先の手配サイクルを踏まえた早期対策: 寄港回数・時期のコントロール、ポートセールスの指針等

※クルーズ客と空路宿泊客の消費額の差、宿泊と夜ご飯が一番お金を使うコンテンツ、現状のタクシー/バス逼迫、団体・修学旅行への波及、宿泊業の恩恵薄

具体的な充当事業の検討にあたって

▶項目別の按分、配分の決定

- 狙い: 観光の質の転換

ブランディング

産業支援

二次交通

文化育成・自然保全

受入環境整備